

令和6年度 第2回 藤沢市立第一中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 令和6年7月2日(火) 15時00分～16時00分  
 場 所 第一中学校 第1会議室

出席委員等	<p>福岡 正仁、北井 淳一、矢部 佳奈子、柳川 直子、栃本 親、立山 優花、伴 瑞穂、井出 祥子、市川 明美、池田 太理、西方 潤平、高田 謙吾</p> <p>出席委員：12名（欠席委員：1名 尾崎委員）                  事務局：手島 淑子                  傍聴人数：0名</p>
次第	<p>1. 開会                  2. 委嘱状等の交付                  3. 自己紹介                  4. 議題                  (1) 全県進路状況調査から見る志願先の変化について                  ・情報提供（北井副会長）                  ・グループ別協議（意見交換）                  ・グループ別協議の共有                  5. その他 今年度の会議日程（予定）                  6. 閉会</p>
協議内容	<p>4 (1) 全県進路状況調査から見る志願先の変化について                  副会長：県内の進路状況の傾向や推移を知ってほしい。                  ・グループ別協議                  ・グループ別協議後の意見共有                  委員：進学先として近年、多様な選択肢が増えている。                  高等学校卒業資格を得ること、将来的な就労につなげることを希望し、増えている傾向として考えられるのではないかと。                  委員：広域通信制高校等、どのようなものかがあまりわからないのが保護者の現状ではないか。高校卒業後の進路に関して、報告があれば学校側も安心する。                  中学校の教員の増員等ができれば、中学校生活でのつまずきや悩みも解決につながるのではないかと。                  委員：経済面では公立高校よりも私立高校の方が、保護者負担は増える。                  広域通信制高校等は、入試回数が多さがあり、早めに決まるため、不登校生徒の保護者は安心できるのではないかと。                  委員：定員割れの県立高校も出てきているのが現状である。今後の推移を見ていきたい。                  副会長：今後も様々な情報が互いに出てきて、グループ討議ができればよい。                  会長：現代の社会がどのようなもので、その中で生きていく本校の生徒が、今後よりよい未来を作っていくことができるのかを考え、今後も共有していきたい。                  委員：次回は学校、各学年の状況等の話を聞くことができると良い。</p> <p>(その他)                  今後の会議開催日程について                  配付資料の紹介等</p>

以上

次回開催予定 令和6年9月12日(木) 15時～  
 場 所 第一中学校 第一会議室